

令和 6 年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

小 論 文

農学部 亜熱帯地域農学科

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配布するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90 分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

品種改良は、生物の突然変異や選抜育種などを利用したものから始まり、現代ではゲノム編集などの技術を駆使して、人類に有用な性質を持つ動植物を育成することで、農業に大きな貢献をしてきました。例えば、生産量を増やしたり、食味を良くしたり、病気への抵抗性を高めたりすることなどが挙げられます。このように人類に多くのメリットをもたらしてきた技術である反面、時には在来品種が失われるなどのデメリットをもたらす場合もあります。

以下の問いに答えなさい。

これからあなたが品種改良を行うと想定したとき、

- (1) どのような課題を解決するために、どのような改良を施したいか
- (2) それは地域の農林畜産業や社会にどのようなメリットおよびデメリットをもたらすのか

以上、2つの点について、具体的な地域や農林畜産物を例に挙げて、あなたの考えを900字以上1,200字以内で述べなさい。

令和6年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

小 論 文

農学部 亜熱帯地域農学科

出 題 の 意 図

農学部亜熱帯地域農学科では、(1)国際的な視点で地域農林畜産業の振興に貢献したい人、(2)地域生物資源の循環システムに基づく持続的農業生産に取り組みたい人、(3)農業と地域社会との仕組みを考えたい人、をアドミッション・ポリシーとしている。

問題に挙げた品種改良は、農林畜産業を画期的に発展させる可能性を有するものであるが、反面では、遺伝的多様性の喪失や環境負荷の増大などの問題も危惧されている。

この問題は、品種改良を題材に、地域農林畜産業振興のイノベーション創出やその技術導入が社会にもたらす影響などについて、志願者がどのような基礎的知見や学習意欲を有しているかを、設問への理解力、文章の構成力や論理的表現力の観点から総合的に評価することを意図している。